



第61回卒業証書授与式 挙 行

3月1日、追分高校卒業式が挙行された。三浦校長先生は、卒業生33人一人ずつに卒業証書を手渡し、固い握手を交わした。

式辞の中では、「追分高校が大きく変わり評価される原動力となった学年だったと確信している。私の強い願いは、母校に誇りを持てる人材になって欲しいということ。君たちには、その素地が十分にあることを確信しているからこそ期待感を込め声を大に

して言える。私の可能性を信じ大道を歩め。」と万感の思いを込めた力強い言葉を述べた。



卒業証書を授与する三浦校長

旧ホームヘルパー2級の資格を取得

本校の2年生4人が介護職員初任者研修を受講し、旧ホームヘルパー2級の資格を取得した。この研修は安平町社会福祉協議会が主催し、早来町民センターを会場に11月15日から3月7日までの金、土曜日の計23日間実施され、41科目の研修プログラムを社会人を含む23人が受講した。研修時間は、土曜日は9時30分から昼食休憩をはさみ7時間、金曜日は18時20分から3時間と高校生にとっては長時間

間。特に金曜日は、1日学校の授業を受けた後の研修なので眠気との戦いとなったようだ。

今春本校を卒業し、(株)橙果舎グループホームこもればびの家に就職した右田将大さんは、追高在学中にガイドヘルパーの研修を受けて資格を取った。「福祉の道に進む人は在学中に研修を受けて資格取得することは就職に絶対有利。」と研修の受講と資格取得を推奨。

追分高校に対する安平町の支援の一環で、資格取得のための費用の半額を安平町が補助する制度もあり、資格取得の経済的負担も軽減される。今春の卒業生で、大学進学や就職先に福祉の道を選んだ追高生は7名、卒業生全体の21%の割合となった。穏やかな生徒が多い追高の特徴が現れた進路結果となっている。

～親愛なるおばちゃん～

卒業生を陰で支えた人がいる。SPAR 追分店から派遣されている売店の田村さんだ。

育ち盛りの追高生のお腹を満たすだけでなく、悩み多き世代の良き相談相手として、20年余り追高生を温かく見守り続ける生徒達の親愛なる「売店のおばちゃん」だ。

卒業式は、売店にお手製のメッセージボード「卒業おめでとう！」を掲示。「卒業生達はみんな3年間でずいぶん成長した。1年生の頃は出店準備をしていると腹痛でよくトイレに行っていた生徒も4月からは大学生。みんな自信を持って、笑顔を忘れずにね！」と売店のおばちゃんは、巣立って行く追高生にエールを送った。



旧ホームヘルパー2級の資格を取得した生徒4名



▶ 皆様のご意見をお寄せください ◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページをリニューアルしています。
ぜひ、ご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校